

平成29年 就業構造基本調査

調査票の記入のしかた

調査票に記入した内容は、統計を作る目的以外には使用いたしませんので、ありのままを記入してください。

調査票を記入する前に ーよくお読みになってからご記入くださいー

★ あなたの世帯にふだん住んでいる人のうち、15歳以上(平成14年10月1日以前生まれ)の方は全員記入してください。

※ふだん住んでいる人とは、平成29年10月1日現在あなたの世帯に

- ① すでに3か月以上住んでいる人
- ② まだ3か月にはならないが、3か月以上にわたって住むことになっている人
をいいます。

- 家族以外の人でも、生計を共にしている単身の同居人や住み込みの雇人は、あなたの世帯に含めて記入してください。
- 旅行や出稼ぎなどで、不在期間が3か月以上にわたる人については、旅行先や出稼ぎ先で調査されます。
- 病院・診療所などに入院している人や社会福祉施設に入所している人は、それまでの入院・入所期間が3か月未満の場合は自宅で、3か月以上の場合は入院先又は入所先で調査されます。
- 寄宿舍・学生寮などから通学している学生・生徒については、その寄宿舍・学生寮などで調査されます。
- 船舶に乗り組んでいる人(自衛隊の艦船内居住者を除く。)については、自宅で調査されます。
- 3か月以上にわたって住んでいるところも住むことになっているところもない人は、現在いる場所
で調査されます。

- 記入には、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
ボールペンや万年筆は黒色でも使用しないでください。
- 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入してください。
また、鉛筆の粉、消しゴムの消しクズは、きれいに取り除いてください。
- 調査票は、機械にかけますので、汚したり、水などでぬらしたりしないでください。

調査票は、平成29年10月1日現在で記入してください。

- 調査の内容、調査票の記入方法などについて、わからない点がございましたら、コールセンターにお問合せいただくか、調査員が訪問した際にご質問ください。

就業構造基本調査コールセンター



0570-07-1937

IP電話の場合:03-6748-1970

設置期間:平成29年10月26日(木)まで
受付時間:午前8時~午後9時
(土・日・祝日もご利用いただけます。)

※おかけ間違いのないようにご注意ください。

※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHSの場合、それぞれ所定の通話料金となります。

※IP電話用電話番号の通話料金は、所定の通話料金となります。



総務省統計局

▼就業構造基本調査に関するくわしい情報はこちら

<http://www.stat.go.jp/>

調査票第1面

1
5
7

調査票第1・2面

A 1
5
A16

調査票第1・2面

B 1
5
B11

調査票第2面

C 1
5
C 7

調査票第2面

D 1
5
F 2

調査票第2面

G 1
G 2

勤め先の名称、
事業・仕事の内容
の書き方

基本事項(1~7)について

世帯主について

- 通常、世帯主とみなされる人であっても、単身赴任・出稼ぎ・入院などで不在期間が3か月以上にわたる場合は、その配偶者を「世帯主」にするなど、必ず世帯員のうちからこれに代わるべき人を「世帯主」とします。
- 間借り人や下宿人、会社の独身寮の入寮者、学校の寄宿舎の学生・生徒、病院や社会福祉施設に入っている人で単身の場合は、一人一人が「世帯主」となります。

1 氏名・男女の別及び配偶者（妻又は夫）の有無 ・配偶者の有無は届出の有無に関係なく記入してください	氏名 統計太郎 男 女 未婚 配偶者あり 死別・離別
2 世帯主との続き柄 ・世帯主の配偶者の祖父母・兄弟姉妹はそれぞれ「祖父母」「兄弟姉妹」に含めます	世帯主の配偶者 子 子の配偶者 孫 世帯主の父母 世帯主の配偶者の父母 祖父母 兄弟姉妹 他の親族 その他 世帯主 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
3 出生の年月 ・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください	明治 大正 昭和 平成 西暦 49年6月
4 教育 (1) 就学状況 ・現在 学校に在学しているかどうかについて記入してください ・予備校などは、ここから学校には含めません ・「卒業」の人は最終卒業学校（中途退学した人はその前の卒業した学校）について書いてください	卒業 在学中 在学したことがない (5へ) 昭和62年(1987年)以前 昭和63年(1988年)以後 昭和 平成 西暦 9年
(2) 学校区分 ・回答肢については『調査票の記入のしかた』を参考にしてください	小学 高校 専門学校(修業年限) 短大 高 大 大 中学 旧制中 1年以上未満 2年以上未満 4年以上未満 大 専 学 院 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
7 あなたはふだん何か収入になる仕事をしてしていますか ・ここで「仕事をしている」とはふだん仕事をしており、今後もしていくことになっている場合をいいます ・収入になる仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含めます ・家事には、育児・介護・看護などを含めます ・通学には「4 教育」欄の記入にかかわらず、予備校・専修学校・各種学校に通っている場合も含めます ・10月1日あるいはその前、数日間たまたま仕事をしたとしても「仕事をしていない」としますが、季節的な仕事や病気などでたまたま仕事を休んでいる場合は「仕事をしている」とします ・育児休業や介護休業などのため仕事を一時的に休んでいる場合は「仕事をしている」とします	

4 教育(2)学校区分

- 現在「在学中」の人はその学校区分について、「卒業」の人は最終卒業学校について記入してください。
- 予備校・学習塾・洋裁学校・料理学校・英会話教室や職員・社員の研修所・訓練所などはここでいう学校には含めません。
- 学校の区分は、以下を参考に記入してください。

- ・専門学校は、修業年限により、当てはまるところに記入してください。在学生については、現在の学年ではなく修業年限により記入します。なお、平成18年3月までの卒業生で、修業年限4年以上のものは、「専門学校（修業年限2年以上4年未満）」とします。
- ・高校、専門学校、短大、大学、大学院については、定時制やこれらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程を含めます。
- ・調査票に記載の学校区分以外の場合は、入学資格や修業年限により、相当する学校区分（小学・中学、高校・旧制中、短大、大学、大学院）に記入します。なお、外国の学校についても、修業年限などにより、相当する学校の区分に記入してください。

▼ 専門学校を除く専修学校、各種学校の場合

⇒ 入学資格や修業年限により、相当する学校区分に記入します。下表に該当しない場合は、直前の最終卒業学校について記入します。

高等専修学校・各種学校		学校区分
高等専修学校（専修学校高等課程）	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中
各種学校	新高卒を入学資格とする修業年限2年以上のもの	短大
	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中

5 居住地について

5 居住地について		出生時から	明治	大正	昭和	平成	西暦				
(1) 現在の場所に住み始めたのはいつですか ・平成24年(2012年)以後の人は月まで書いてください		(6へ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
(2) あなたはなぜ現在の場所に住むことになったのですか ・あなたから見た理由を記入してください (おもなもの一つにマーク)		あなたの仕事の都合 仕事をやめたため	家族の仕事の都合 その他	通学のため	結婚のため	子供の養育・教育のため	介護・看護のため その他				
(3) 現在の場所に住む前はどこに住んでいましたか ・東京都区部及び政令指定都市の区の間で移動した場合は「同じ都道府県内の別の市区町村」とします ・「他の都道府県」の場合は 都道府県名も書いてください		同じ市区町村内の別のところ	同じ都道府県内の別の市区町村	他の都道府県	外国						
		都道府県名 (左づめで記入)		△ △ 県							
6 収入の種類 ・あなた個人のこの1年間の収入について記入してください ・だれに分かはっきりしないものは世帯主の分に含めて記入してください (おもなもの一つにマーク) (その他該当するものすべてにマーク)		賞金・給料	事業収入 (農業を含む)	内職収入	年金・恩給	社会保障給付 雇用保険 その他給付	仕送り	家賃・地代	利子・配当	その他	なし
		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話番号		○○○	-	×××	-	□□□□	(わからないことがあった場合 問合せに利用させていただきます)				

▼ 「あなたの仕事の都合」の「その他」とは、具体的にはどのような場合なの？

⇒ 自分の通勤(転勤を除く)に便利なところに転居したり、勤め先の事業所が移転したことにより転居した場合などです。

▼ 「介護・看護のため」には、自分が介護・看護を受けるために転居した場合も含めるの？

⇒ 「介護・看護のため」とは、あなたが家族の介護・看護をするために転居した場合をいい、自分が介護・看護を受けるために転居した場合は「その他」とします。

市区町村の合併などにより、市区町村名が変わっても、実際に転居していなければ、住むところが変わったことにはなりません。

仕事をしている人		仕事をしていない人	
仕事をおもっている	家事が主でおもっている	家事をしている	通学している
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
通学が主でおもっている	その他(家事・通学以外)	その他	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

6 収入の種類

- ここでは、仕事や事業からの収入のほかにも、経常的に得ている収入について、この1年間の状況を記入してください。(臨時的に得た退職金、高額医療費の還付金などは含めません。)
- 世帯全体として得ている収入(又は、だれの名義かわからないが、世帯として受け取っている収入)については、世帯主が代表して記入してください。

7 あなたはふだん何か収入になる仕事をしていませんか

▼ 「収入になる仕事」とは？

⇒ 給料、賃金、手間賃、営業収益などの収入を得る目的とする仕事のことです。

家族の人が自家営業(個人経営の商店、工場や農家など)を手伝っている場合は、無給であっても、自家の収入を得る目的で仕事をしていることとなります。

▼ ふだんの就業状態がはっきりと決められない場合は？

⇒ 仕事があったりなかったりする人や、忙しい時だけ家業を手伝う人などで、ふだんの就業状態がはっきりと決められない場合は、便宜、1年間に30日以上仕事をしている場合を「仕事をしている」とします。

▼ 「その他」とは、どのような場合のことなの？ ⇒ 病気や高齢などで、ふだん仕事をしていない場合をいいます。

▼ PTA役員やボランティアでも仕事なの？

⇒ 民生委員、保護司、PTA役員やボランティア活動をしている人など、無報酬の仕事のみをしている人は、「仕事をしていない」とします。

- 通学には、「4 教育」欄の記入にかかわらず、予備校、洋裁学校などの各種学校・専修学校に通っている場合も含めます。
- 育児休業中や介護休業中の場合、収入の有無や休業日数の長短にかかわらず、休業前の仕事について記入してください。

A欄(ふだん仕事をしている人)について【第1面】

A2・A3 勤め先・業主などの名称と事業の内容、本人の仕事の内容について

▼ **何をどこまで詳しく記入すればいいの？**

⇒ 14、15ページに示す書き方の説明や書き方の例を参考にして記入してください。

A4 勤め先・業主などの企業全体の従業者数

▼ **農家や商店などの個人経営の場合、従業者数はどのように記入すればいいの？**

⇒ 農家や商店などの個人経営の場合は、業主自身のほかに家業を手伝っている家族も含めてください。

A ふだん仕事をしている人

おもな仕事について(仕事を休んでいる人は休んでいる仕事について記入してください)	A1 勤め先・業主などの名称と事業の内容 ・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます ・上記以外の派遣されている人(パートの派遣社員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください	雇われている人のうち 正規の従業員・パート アルバイト 労働者派遣事業所の派遣社員 契約社員 嘱託 その他 会社などの役員 自営業主 雇人あり 雇人なし 自家営業の手伝い 内職
	A1の2 自分で事業を起こしたのですか	はい いいえ (A2へ)
	A1の3 雇用契約期間の定めの有無・1回当たりの雇用契約期間	雇用契約期間の定めの有無 定めがない(定年までの雇用を含む) 1か月未満 1か月以上3か月未満 3か月以上6か月未満 6か月以上1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満 5年以上 期間がわからない (A2へ)
	A1の4 この仕事で雇用契約を更新したことがありますか	ない ある 更新回数 <input type="text" value="1"/> 回
	A2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容 (1) 経営組織 ・「官公庁など」の場合は部課名まで書いてください (2) 名称 ・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください (3) 事業の内容	個人 会社 合同会社 株式会社 株式会社(農林業) 株式会社(製造業) 実公庁など その他(団体)
A3 本人の仕事の内容 ・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください	田村化成(株) 大阪工場 プラスチック製のカメラボディの製造 デジタルカメラボディの成形加工	
A4 勤め先・業主などの企業全体の従業者数 ・本社・支店・工場なども含めた従業者総数(パートなども含む)について記入してください	1人 2人 5人 10人 20人 30人 50人 100人 300人 500人 1000人以上 実庁など	
A5 この仕事の1年間の就業日数及び1週間の就業時間 (1) 1年間の就業日数 ・この仕事について1年未満の人は最近の状態をもとにして1年間の見込日数について記入してください (2) 規則的か否か ・ふだん残業している場合はそれも含めて記入してください	(1) 1年間の就業日数 50日未満 50日99日 100日149日 150日199日 200日249日 250日299日 300日以上 (2) 規則的か否か 不規則 ある季節だけ だいたい規則的 (第2面A6へ) (3) 1週間の就業時間 15時間未満 15時間19時間 20時間21時間 22時間29時間 30時間34時間 35時間42時間 43時間45時間 46時間48時間 49時間59時間 60時間64時間 65時間74時間 75時間以上 (第2面A6へ)	

A5 この仕事の1年間の就業日数及び1週間の就業時間

【「(1)1年間の就業日数」について】

● 労働者派遣事業所の派遣社員の場合は、派遣元事業所から派遣されて就業していた1年間の全就業日数を記入します。派遣先事業所を変わった場合でも、通算した1年間の就業日数により記入してください。

▼ 「(3)1週間の就業時間」には残業時間も含めるの？

⇒ 就業規則などで定められている就業時間に関係なく、残業時間も含めたふだんの1週間の実労働時間について記入してください。

A1 勤めか自営かの別・勤め先における呼称

- おもな仕事について、雇われている人は勤め先における呼ばれ方によって記入します。
 - ・「**正規の職員・従業員**」とは、勤め先で一般職員又は正社員などと呼ばれている人をいいます。
 - ・「**パート**」、「**アルバイト**」とは、就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パートタイマー」、「アルバイト」又はそれらに近い名称で呼ばれている人をいいます。
 - ・「**労働者派遣事業所の派遣社員**」とは、労働者派遣法などに基づく労働者派遣事業所などに雇用され、そこから派遣される人をいいます。
労働者派遣事業所などの派遣社員は、他に当てはまるものがある場合でも、「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。
 - ・「**契約社員**」とは、専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用され、雇用期間の定めのある人をいいます。
 - ・「**嘱託**」とは、労働条件や契約期間に関係なく、勤め先で「嘱託職員」又はそれに近い名称で呼ばれている人をいいます。
 - 「**自営業主**」とは、個人経営の商店主・工場主・農業主・開業医・弁護士・著述家・家政婦などをいいます。
ただし、会社組織になっている商店などの経営者は、自営業主とはしないで、会社などの役員とします。
 - 自営業主で、家族の手伝い（無給）のみで他の人を雇っていない場合は、「**雇人なし**」とします。
 - 「**自家営業の手伝い**」とは、自営業主の家族で、その自営業主の営む事業を無給で手伝っている人をいいます。
給料・賃金をもらっている場合は、家族であっても、「雇われている人」とします。
- 【A1の3（雇用契約期間の定めの有無・1回当たりの雇用契約期間）について】
- 雇用契約に期間の定めのある人は、1回当たりの契約期間を記入してください。
（同じ事業所で、契約期間の更新を繰り返しながら働いている人は、最初に契約したときからの通算ではなく、現在の契約期間について記入してください。）
- 【A1の4（この仕事で雇用契約を更新したことがありますか）について】
- 雇用契約の更新回数について記入してください。

A2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容

- 【「(1)経営組織」について】
- NPO（非営利組織）、NGO（非政府組織）や宗教法人の場合、「**その他の法人・団体**」に記入してください。
- 【「(2)名称」について】
- 株式会社なら「(株)」、有限会社なら「(有)」、財団法人なら「(財)」などと略して記入しても差し支えありません。
勤め先が本社や本店とは別のところにある工場・支店などの場合は、その工場・支店などの名称まで記入してください。
- （例）
- ・(株)〇〇製作所××出張所
 - ・(有)〇〇商会××営業所
 - ・(財)〇〇協会

★ 労働者派遣事業所の派遣社員について

労働者派遣事業所の派遣社員は、A2～A4は派遣先について記入してください

★ 出向について

他企業に一定期間出向している人は、賃金・給料がどこから支払われているかにより記入してください。

例えば、出向先から賃金・給料が支払われている場合は転職とみなし、出向先について記入します。この場合、調査票第2面の「前の仕事」の記入欄（C欄）は、出向元について記入します。

★ 育児休業中や介護休業中の場合

収入の有無や休業日数の長短にかかわらず、A1～A4については、休業前の仕事の内容について記入してください。また、A5については、休業前の実績をもとにして、1年間の状況を見積もって記入してください。

A欄(ふだん仕事をしている人のつづき)について【第2面】

A6 この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)

▼ 毎月の決まった給料以外も合計するの？

⇒ 毎月の給料、賃金、残業手当、チップなどのほか、期末手当やボーナスなども含めたこの1年間の仕事からの収入総額を、税込みで記入してください。

▼ 自営業の場合、収入はどのように記入するの？

⇒ 自営業の場合は、営業利益(売上高から仕入高、原材料費、人件費、消耗品費などの必要経費を差し引いた額)について記入してください。

A ふだん仕事をしている人のつづき こちらはウラ側でオモテ側から記入してください

A6 この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)	収入が50万円未満	50万円以上59万円未満	60万円以上69万円未満	70万円以上79万円未満	80万円以上89万円未満	90万円以上99万円未満	100万円以上109万円未満	110万円以上119万円未満	120万円以上129万円未満	130万円以上139万円未満	140万円以上149万円未満	150万円以上
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<small>・この仕事について1年未満の人は1年間の見積額について記入してください ・自営業の場合は、売上高から必要経費を差し引いた営業利益について記入してください</small>												
A7 この仕事にはいつつuitたのですか	大正 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input checked="" type="radio"/> 西暦 <input type="radio"/> ・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください 2 4 年 4 月											
A8 どうしてこの仕事につuitたのですか(おもなもの一つにマーク)	失業していた <input type="radio"/> 学校を卒業した <input type="radio"/> 収入を得る必要が生じた <input type="radio"/> 知識や技能を生かしたかった <input type="radio"/> 社会に出たかった <input type="radio"/> 時間に余裕ができた <input type="radio"/> 健康を維持したい <input type="radio"/> よりよい条件の仕事が見つかった <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/>											
<small>第1面のA1欄で「雇われている人」のうち「パート」「アルバイト」「労働者派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他」と回答した方のみお答えください(それ以外の方はA11へ)</small>												
A9 どうして今の雇用形態についているのですか	自分の時間に働きたいから <input type="radio"/> 家計の補助・学費等を得たいから <input type="radio"/> 家事・育児・介護等と両立しやすいから <input type="radio"/> 通勤時間が短いから <input type="radio"/> 専門的な技能等を生かせるから <input type="radio"/> 正規の職員・従業員の仕事がないから <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/>											
<small>(該当するものすべてにマーク) (うち おもなもの一つにマーク)</small>												
A10 収入を一定の金額以下に抑えるために就業時間や日数を調整していますか	している <input type="radio"/>						していない <input checked="" type="radio"/>					

A7 この仕事にはいつつuitたのですか

● 季節的に休む仕事の場合は、その仕事に最初につuitた時期を記入してください。

その仕事についてから、病気などで長期の休業があっても、復帰した時期ではなくその仕事に最初につuitた時期を記入してください。

▼ 現在の勤務地や業務に変わった時期を記入するの？

⇒ 社内の人事異動などで勤務地や業務が変わった時期ではなく、その勤め先に勤め始めた時期を記入してください。

A10 収入を一定の金額以下に抑えるために就業時間や日数を調整していますか

- 収入を一定の金額以下に抑えるために就業時間や日数を調整しているとは、例えば、以下のような場合などをいいます。
 - ・ 所得税の非課税限度額を超えないように、就業時間や日数を調整している場合
 - ・ 配偶者の税制上の配偶者控除又は配偶者特別控除が適用されるように、就業時間や日数を調整している場合
 - ・ 配偶者手当の支給基準を満たすように、就業時間や日数を調整している場合
 - ・ 現在、支給されている年金の減額率を抑えるように又は減額を避けるように、就業時間や日数を調整している場合

A11 この仕事を今後も続けますか <input type="checkbox"/> ・同じ会社で配置や勤務地を変わりたい場合は「この仕事を続けたい」とします	「この仕事を続けたい」 ○ (A12へ)	「別の仕事をしたい」 ○ (A11の3へ)	「ほかの仕事」 ○ (A11の4へ)	「仕事をすっぴの」 ○ (A13へ)	「やめてしまいたい」				
A11の2 どうしてほかの仕事に変わりたいのですか (おもなもの一つにマーク)	一時的に仕事だから	収入が少くない	事業不振や先行き不安	定年又は雇用契約の満了に備えて	時間的・肉体的に負担が大きいです	知識や技能を生かしたい	余暇を増やしたい	家事の都合	その他
A11の3 どのようなかたちで仕事をしたいのですか (おもなもの一つにマーク)	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員	自分で事業を起したい	家を継ぎたい	内職	その他	
A11の4 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか	探している	開業の準備をしている	何もしていない						

A11の4 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか

- 「探している」とは、インターネットの求人・求職サイトや新聞広告の求人欄、求人情報誌を見て応募をしたり、公共職業安定所や民間職業紹介所に申し込んだり、直接人に頼んで仕事を探してもらっている場合やその結果を待っている場合をいいます。
また、労働者派遣事業所に登録して、仕事ができるのを待っている場合も含めます。

A8 どうしてこの仕事についてのですか

- この仕事について理由が複数ある場合は、おもな理由を一つ記入してください。

A9 どうして今の雇用形態についているのですか

- 自分で自由に使えるお金を得たい場合などは、「その他」とします。

★ 育児休業中や介護休業中の場合

A6については、休業前の実績をもとにして、1年間の収入額を見積もって記入してください。
A7～A16（8ページ）については、収入の有無や休業日数の長短にかかわらず、休業前の仕事の内容について記入してください。

▼ 労働者派遣事業所の派遣社員はどのように記入するの？(A6、A7及びA11について)

- ⇒ 【A6（この仕事からの1年間の収入）について】
派遣先事業所を変ったかどうかにかかわらず、派遣元事業所から支給された1年間の賃金・給料を記入してください。
- ⇒ 【A7（この仕事にはいついたのですか）について】
現在の派遣元事業所と雇用契約を開始した時期を記入してください。
また、同一の派遣元事業所に断続的に雇用されている場合、短期間、契約を結んでいない期間があっても、その後、再度雇用契約を結んでいる場合は、その雇用契約が連続しているものとします。
- ⇒ 【A11（この仕事を今後も続けますか）について】
現在の派遣元事業所との契約を続けたいかどうかを記入してください。派遣元事業所を変わりたい場合は「ほかの仕事に変わりたい」に記入します。

A欄(ふだん仕事をしている人のつづき)について【第2面】

A12 現在より就業時間を増やしたいと思っていますか

- 現在のおもな仕事の就業時間についてだけでなく、副業を始めるなどして仕事をする時間を増やしたい、転職して仕事をする時間を減らしたいなどを含めた希望を記入してください。

A13・A14 おもな仕事以外の仕事について

- 大学教員や医師などの専門的・技術的職業従事者が、それぞれ別の大学、病院、施設などで仕事をしている場合や副業として執筆活動を行っている場合も「(別の仕事)をしている」に含めます。

A12 現在より就業時間を増やしたいと思っていますか	今のままでよい	増やしたい	減らしたい	
	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
A13 あなたはおもな仕事のほかに別の仕事もしていますか	していない	している(ある時期だけしている場合も含む)		
	<input type="radio"/>	会社などの役員	雇われている人	自営業主
A14 勤め先・業主などの事業の内容 ・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください	生花の小売			
A15 1年前は何をしていたのですか	仕事をしていた	仕事をしていなかった		
	仕事をおもにしていた	家事・通学などのかわらしていた	家事	通学
	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
A16 現在のおもな仕事につく前に何か別の仕事をしていましたか	ある	ない		
	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		

A14 勤め先・業主などの事業の内容

▼ 何をどこまで詳しく記入すればいいの？

⇒ 14、15ページに示す書き方の説明や書き方の例を参考にして記入してください。

A15 1年前は何をしていたのですか

- 平成28年10月1日又はその前数日間たまたま仕事をしていても、「仕事をしていた」とはせず、ふだん「仕事をしていなかった」とします。

A16 現在のおもな仕事につく前に何か別の仕事をしていましたか

▼ 同じ企業内で配置換えになったのは、前の仕事とは別の仕事とするの？

⇒ 勤め人が勤め先を変えた場合、変える前の仕事を別の仕事とします。同じ企業内での配置換えや勤務地が変わった場合は、別の仕事とはしないでください。

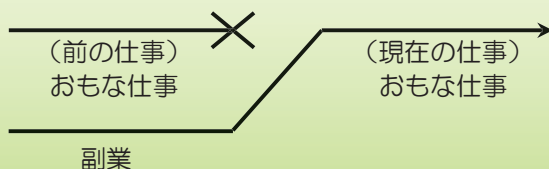
▼ 以前、現在の事業とは別の事業を営んでいたのは、前の仕事になるの？

⇒ 事業を営んでいる人が以前は別の事業を営んでいた場合、以前営んでいた事業を別の仕事とします。

★A16《前の仕事と現在の仕事》について

「おもな仕事」が変わった場合、「以前していたおもな仕事」を「前の仕事」とします。

(例①) 副業をおもな仕事として継続した場合



(例②) おもな仕事を副業として継続した場合

